

たるみびょういん通信



看護師さん募集中です。お電話&メールでのお問い合わせ、随時受付中です。

新しい年を迎えました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。垂水病院スタッフ一同これまで以上に地域貢献し、不安を抱えてお越しになる患者様や、ご家族様のお力になれるよう努めていきたいと考えています。



突然ですが、パッチアダムスをご存知でしょうか。「笑い」が人の心や体の病を癒すことに気が付き、医師になることを決意。医師資格を修得し、入院中の患者様（主に小児）の病室を道化師（ピエロ）の恰好で訪れては、笑いを振りまいていた人物です。

パッチ・アダムスの名前の由来は、怪我をした時に貼る「絆創膏」。みなさんの傷ついた心に絆創膏を貼る・・・そんな彼の願いが込められています。

映画にもなり、俳優さんが鼻に真っ赤なボールを付けてニッコリ微笑んでいたのが印象的でした。実際、「笑い」がもたらす健康効果もあるようです。免疫力が高まる、血行促進や記憶力アップ、血糖値の低下などです。

「笑い」以外にも、人に良い影響を与えるものには何かあるでしょうか。



垂水病院には作業療法という治療があります。日常生活の諸動作や仕事・遊びなど人間に係わる全ての諸活動を「作業活動」と呼び、



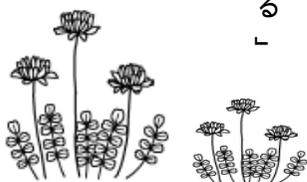
- ・ 基本能力（運動機能・精神機能）
- ・ 応用能力（食事やトイレなど生活で行われる活動）
- ・ 社会生活適応能力（地域活動への参加）

を通して、治療の手助けを行っています。垂水病院の作業療法士（OT）も「その人らしい生活の獲得」を目標として、スポーツや音楽、創作活動などを提供させていただきます。

さてさて、日本では古くから「笑う門には福来たる」と言います。

皆さまが笑顔で健やかに過ごせますようお願いしております。

三月吉日



アルコール依存症相談や薬物依存症相談うけたまわりますので、診療時間内にお電話下さい。お酒や薬物に関する講演依頼もお気軽にお電話下さい。

垂水病院の取り組み

「じょくそう」ってご存知ですか？漢字では「褥瘡」と書きます。多分、「床ずれ」という言い方をよく聞かれると思います。体の一部に持続的に力がかかると、表面を走る毛細血管が圧迫され、皮膚への血流が乏しくなり、その部分の皮膚が死んでしまいます。そのため褥瘡のほとんどは、寝たきり状態の人に起こります。垂水病院では、医師・看護師・薬剤師・栄養士・事務職を構成メンバーとした褥瘡対策委員会を設置して、毎月の委員会活動及び職員教育として年2回の研修会を開催しています。入院された全患者様を対象とし、早期に危険性を判断でき、「じょくそう」を作らない病院を目指し取り組んでいます。

